

# 肝細胞癌に対する肝切除後早期再発危険因子同定に関する検討

九州大学病院、肝臓・脾臓・門脈・肝臓移植外科において2003年8月1日から2014年11月30日までに肝細胞癌に対する初回治療として根治的肝切除を受けた方を対象

**【はじめに】**肝細胞癌は肝硬変などの障害肝に発生することが多く、障害肝に発生する多中心発癌も相まって治療後の再発は高率です。肝切除手術は肝細胞癌に対する治療として最も根治度が高い治療ですが、切除に伴う肝予備能の低下は他の治療と比較して最大です。肝切除後の早期再発危険因子が存在する患者に対し、肝切除以外の治療法を選択することにより肝予備能を最大に保持することが可能となり予後向上に貢献することができると考えられます。

**【研究内容】**今回、2003年8月1日から2014年11月30日までに九州大学病院にて行われた肝細胞癌に対する初回治療として根治的肝切除を受けた患者さんを対象とします。患者さんの年齢、性別、身長、体重、術前血液データ、肝炎ウイルスマーカー、CT、MRIの術前画像データを術後肝細胞癌再発予後不良危険因子として統計解析を行います。この検討により、肝細胞癌の術後早期再発が予想される患者さんに対しては肝機能温存のために手術以外の方法が選択でき、肝予備能の温存により、肝細胞癌の治療成績向上に繋がるものと思われれます。今回の研究は過去の診療情報を解析する研究です。

**【患者さんの個人情報の管理について】**個人を特定できる情報については匿名化し、厳重な管理を行います。本研究の実施過程およびその結果の公表(学会や論文等)の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡ください。

**【研究期間】**研究を行う期間は承認日から2016年3月31日です。

**【医学上の貢献】**この研究により肝細胞癌の治療成績向上につながるものと考えられます。

## **【研究機関の長】**

九州大学病院長 石橋 達朗

## **【研究計画書および研究の方法に関する資料について】**

研究計画書および研究の方法に関する資料を入手または閲覧することができます。ご希望される場合は、下記連絡先までご連絡ください。

## **【個人情報の開示について】**

本人等からの開示の求めに応じて、保有する個人情報のうちその本人に関するものについてのみ開示を行います。

## **【研究機関・組織】**

九州大学大学院 医学研究院 外科集学的治療学講座  
准教授 内山秀昭 (責任者)

連絡先: 〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1  
九州大学大学院 消化器・総合外科医局  
Tel: 092-642-5466  
内山 秀昭